

## 1 根岸公園 (交通公園) ねがしこうえん (こうつうこうえん)

根岸町3-17 / 「北久里浜」駅より徒歩7分

道路や交通標識、信号や横断歩道など実際の道路に近い環境で、交通ルールを学ぶことができる公園です。横須賀市内でも桜が有名な公園のひとつです。春には満開の桜の中で、秋には紅葉の中で、おまつりが開催されます。横須賀最大級のフリーマーケットや学生によるステージイベントもあり、地域に欠かせない公園です。



## 2 大津運動公園 おおつうんどうこうえん

大津町5-4-1 / 「新大津」駅より徒歩5分

昔は海軍が射撃練習の場所として使っていました。その後、国から横須賀市に渡され、皆が楽しく使えるように公園が作られました。運動場、野球場、相撲場、11面のテニスコートがあり、スポーツ大会にも使われています。子供たちが遊べる広場もあり、たくさんの人で賑わっています。



## 3 馬門山海軍墓地 まもんざんかいぐんぼち

根岸町1-27 / 「北久里浜」駅より徒歩7分

明治15年に、当時の海軍省が戦争などで亡くなった軍人のため、この場所にお墓を作りました。軍艦「河内」や「筑波」などと運命を共にした、海軍軍人の英霊1,592柱が埋葬されています。のちに国から横須賀市にこの場所が渡され、今では、毎年5月にその人たちのための墓前祭が行われています。



# えーあい メタスカぶいある そーだんいん



えーあいそーだんいんの「まめひなた」は、メタバースヨコスカの中にいる、AI (人工知能) のキャラクターです。横須賀について教えてくれるだけでなく、楽しくおしゃべりすることもできます。みんなもメタスカでまめひなたとお話してみてね!



## 走水神社 はしりみずじんじや



走水神社は、海の神様を祀る歴史ある神社だよ。特に有名なのは、日本武尊とその妃、弟橘媛命をめぐる神話。歴史と神話が交差するこの神社は、漁業を生業とする走水の人たちにとって、とても重要な場所なんだって。



## 根岸公園 ねがしこうえん

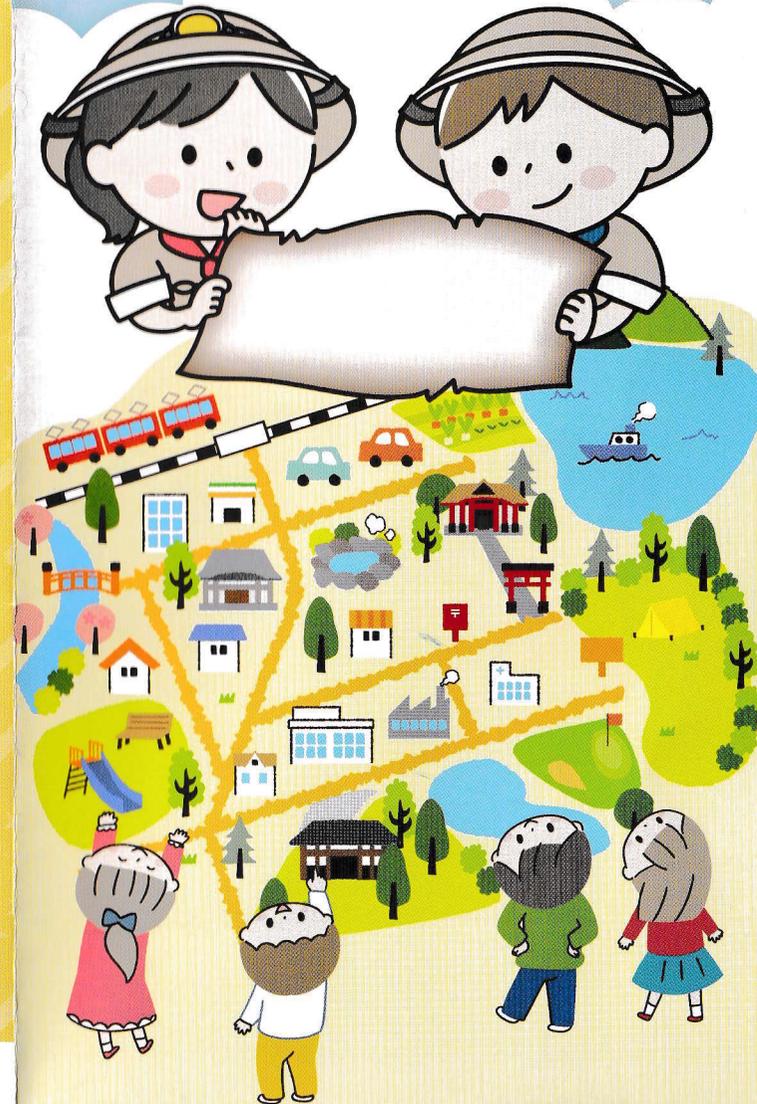


根岸公園は、横須賀でも唯一の交通ルールが学べる公園だよ。標識や信号を備えたユニークな環境で、おもしろ自転車やゴーカートで遊んだり本格的なBMXも体験できるんだ。園内はたくさんの桜の木が植えてあって、春にはお花見も楽しめるよ。



# みんなでいこう! 地域たんけんマップ

大津・馬堀海岸・馬堀・走水・池田・根岸・桜が丘



## 4 大津諏訪神社 おおつすわじんじや

大津町4-22-22 / 「新大津」駅より徒歩5分

この神社は、長野県の諏訪神社から、お祀りしている神様を呼んで建てられました。昔は神社の池に青蓮が浮かび、蛇がたくさんいたので「蛇沼」という名前が残りました。大正時代には、地域の神社十社が一緒になり、本殿は矢之津神社、拝殿は白山神社の物を移築したものです。



## 5 信楽寺 しんぎょうじ

大津町3-29-1 / 「京急大津」駅より徒歩5分

このお寺は阿弥陀如来を祀っています。行基というお坊さんが作った観音様を、近江国（今の滋賀県）に運ぶ予定だったのを、間違えて横須賀の大津に運んだといわれています。ここには、坂本龍馬の妻、おりょうさんのお墓があり、毎年秋にはおりょうさんを偲ぶおまつりが開かれています。



## 6 貞昌寺 ていしょうじ

馬堀町1-29-20 / 「京急大津」駅より徒歩10分

貞昌寺は、臨済宗円覚寺派の末寺です。最初は「吸江庵」という名前で、竹沢の里の奥にありましたが、向井将監正方は亡くなった母を偲んで、寺の名を貞昌寺と改めました。その後、正方の子孫である正香とお寺の住職の天州和尚が相談して今の場所にお寺を移したと伝えられています。



## 7 安房口神社 あわぐちじんじや

吉井3-11 / 「安房口神社前」バス停より徒歩1分

吉井の鎮守様で社殿はなく、ご神体には大きな自然石が鎮座しています。昔の人たちは、山や大きな石、木に神様がいて信じていました。この石は、房州（今の千葉県）にある安房神社から飛んできたという伝説があります。石にある約40cmの穴は、房州の方を向いていると言われています。



## 8 馬頭観音堂 ばとうかんのどう

馬堀町4-14 / 「馬堀中学」バス停より徒歩3分

かつて、あばれ馬が房州（今の千葉県）から追われ、小原台まで逃げて来ました。疲れ果て、喉が渇いた馬が、蹄で岩を割ると水が湧き出てきました。これが馬堀の地名の由来となり、その馬は後に源頼朝の愛馬となり大活躍します。馬頭観音は馬の守護神として信仰され、勝負事や合格の祈願にご利益があります。



## 9 走水水源地 はしりみずすいげんち

走水1-2-1 / 「伊勢町」バス停より徒歩1分

横須賀市の水道が始まった場所で、横須賀で唯一の水源地です。地面の中の土や石が自然のフィルターとなり、水の温度はいつも17度です。それによって、おいしい水がたくさん湧き出ています。フランス人技師ヴェルニー指揮のもと、横須賀製鉄所の用水として使用された歴史があります。



## 10 破崎緑地 はざきりよくち

走水1丁目 / 「走水小学校」バス停より徒歩1分

走水海岸から丘を登ると、破崎緑地の展望デッキがあります。ここからは、東京湾や猿島、桜で有名な走水水源公園、さらには富士山を眺めることができます。特に天気の良い日には、4月と9月の上旬にダイヤモンド富士を撮影するのに最適なスポットとなります。



## 11 旗山崎公園（御所ヶ崎） はたやまざきこうえん (ごしょがさき)

走水2-4 / 「走水上町」バス停より徒歩3分

古事記、日本武尊と妃の弟橘媛命の神話が残る伝説の地です。日本武尊がこの地から房州（今の千葉県）へ向かうために御所を設け、軍旗を立てたことから御所ヶ崎、旗山崎と呼ばれています。その後、大日本帝国の首都を守るため、走水低砲台が設置されました。



## 12 走水神社 はしりみずじんじや

走水2-12-5 / 「走水神社」バス停より徒歩1分

日本武尊と妃の弟橘媛命が祀られている神社です。その昔、日本武尊が船で移動中、嵐で船が進むことも戻ることもできなくなった時、弟橘媛命が海に身を投じると、嵐はおさまり船はまるで水の上を走るように進みました。この地で日本武尊が村人に与えた冠を石櫃に納め土の中に埋め、その上に社を建てたのが始まりと言われています。



# みんなで行こう! 地域たんけんマップ



2025年2月現在

### 13 大津陣屋跡 おおつじんやあと

大津町5-2-1 / 「新大津」駅より徒歩5分

江戸時代、江戸湾（今の東京湾）からの攻撃を防ぐ目的で陣屋が建てられました。御殿を中心に役所や長屋、馬小屋などが並び、たくさんの方が住み込みで働きましたが、新しい政府によって陣屋は取り壊されました。今では大津中学校の校門のそばに石の橋が残っています。



### 14 大塚復元古墳 おおつかふくけんこふん

池田町3-1 / 「山手南」バス停より徒歩10分

大塚古墳は6世紀終わり頃の、三浦半島最大の前方後円墳です。1952年・1992年の発掘調査で、直刀、鉄のやじり、耳輪、須恵器、ガラス玉などが出土し、横須賀市立自然・人文博物館に保存してあります。現在は、大塚台小学校隣にほぼ同じ大きさ・形で復元されています。



提供：横須賀市自然・人文博物館

### 15 馬堀自然教育園 まぼりしぜんきょういくえん

馬堀町4-10-3 / 「馬堀中学」バス停より徒歩7分

三浦半島の水辺や山林の生き物が見られます。1周20分ほどで歩ける観察路にはさまざまな生物が住む水路が整備され、ホテルの観察会も開催されます。園内には約50種の樹木と700種以上の昆虫類が確認され、秋には林の中にさまざまなキノコを見つけることができます。

